

警察署協議会議事要旨

協 議 会 名	平成31年度（令和元年度）第2回 宮城県佐沼警察署協議会
開 催 日 時	令和元年6月4日（火）午後4時から午後5時まで
開 催 場 所	宮城県佐沼警察署
出 席 者	1 協議会委員 会長以下5名 2 佐沼警察署 署長以下9名
議 事 概 要	<p>1 概況説明</p> <p>神奈川県川崎市において小学校児童が無差別に殺傷されるという事件が発生し、当署では同種事件を防止するため、登下校時の見守り活動等の警戒活動を実施した。</p> <p>近年顕在化している高齢化社会と引きこもりという、親子間における「8050問題」が存在するところであり、関係機関・団体との情報共有、連携強化を図りながら、地域と一体となった犯罪等の抑止対策を推進していく。</p> <p>春の交通安全運動では、地域住民の支援・協力により、期間中における大きな事故の発生はなかったが、同運動前の4月、南方町地内の交差点において出会い頭による交通死亡事故が1件発生していることから、交通事故そのものを抑止するため、事故多発路線付近の速度取締り、重大事故に直結する信号無視や一時不停止など交差点関連、飲酒運転の取締りを強化している。</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 相談業務対応状況等について</p> <p>○ 署長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の県内及び当署の相談件数 <ul style="list-style-type: none"> 県内 約6万8,000件（前年比+5,238件） 当署 1,552件（前年比+190件） <p>相談件数の増加要因の一つは特殊詐欺。 架空会社からハガキが郵送される架空請求詐欺の相談が多い。</p> ・ 本年1月から4月末までの相談件数 <ul style="list-style-type: none"> 県内 2万1,019件（前年比-1,681件） 当署 487件（前年比-16件） <p>減少要因は、架空請求詐欺のハガキが減少傾向、地元の協力を得た広報など防止活動を実施。</p> ・ 相談種別 <ul style="list-style-type: none"> 家庭不和、職場、近隣、友人関係 109件 迷惑電話、不審者関係 57件 金銭貸借、売買、契約関係 44件 DV 19件 <p>適切丁寧な対応、真摯に受け止めた対処、相談者の気持ちに寄り添った一歩踏み込んだ対応を心掛ける。 今後の行政警察活動に対する支援・協力依頼。</p> <p>○ 委員</p>

警察署協議会議事要旨

	<p>相談の形態は、来署や電話の他、メールもあるのか。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 署長 メールでも受け付けている。○ 会長 相談する方々の年齢層はどうか。○ 警務課長 相談内容によって異なる。家族等での声掛け、注意喚起など実施して被害抑止に協力願う。 <p>(2) 交通事故発生状況及び抑止対策等について</p> <ul style="list-style-type: none">○ 署長<ul style="list-style-type: none">・ 発生状況 当署の昨年の事故件数は1, 447件で一昨年とほぼ同じだが、昨年の死亡事故は3件で一昨年よりも1件増加。 交通事故のうち4割は65歳以上の高齢者の事故、人身事故等の多くは交差点で発生。・ 昨年度の県内及び当署の事故形態<table data-bbox="665 840 1177 987"><tr><td>県内</td><td>追突事故</td><td>約40%</td></tr><tr><td></td><td>交差点での出会い頭事故</td><td>約20%</td></tr><tr><td>当署</td><td>追突事故</td><td>約40%</td></tr><tr><td></td><td>交差点での出会い頭事故</td><td>約40%</td></tr></table> 交差点における事故が増加傾向。 交差点での事故は重大事故につながりやすいことから、飲酒運転取締りも含めて、交通違反取締りを強力に推進していく。○ 委員 三陸自動車道での逆走があったが、どのくらい通行止めにするのか。○ 交通課長 高速道路で逆走があった場合には、車両が流入しないように通行止めにして、逆走車両をいち早く路外に誘導するなど安全を確保しなければならない。 安全が確保されたことを確認した後、通行止めを解除するように安全に万全を期している。○ 委員 あおり運転の事案は多くなっているか。○ 交通課長 県内では、今のところ多くはない。あおり運転はクラクション等を繰り返したりして執拗に急かしたりする危険な行為を指す。 万が一、あおり運転をされた場合には、まずは危険を回避するため道を譲り、その後110番通報して欲しい。○ 署長 あおり運転については、ドライブレコーダーの精査等、必要な捜査を行った上で、適正に判断するとともに、交通上のトラブルや交通事故の発生状況を見据えた交通取締りを推進する。○ 会長 登米市で白バイをよく見かけるが、パトカーや白バイの姿を見せる	県内	追突事故	約40%		交差点での出会い頭事故	約20%	当署	追突事故	約40%		交差点での出会い頭事故	約40%
県内	追突事故	約40%											
	交差点での出会い頭事故	約20%											
当署	追突事故	約40%											
	交差点での出会い頭事故	約40%											

警察署協議会議事要旨

	<p>だけでも、交通違反や交通事故の防止に効果があると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 署長 今後もパトカーや白バイでの警戒活動を行い交通事故の抑止を図っていく。○ 委員 登米市役所迫庁舎前の道路に車両が多数駐車することがあり、丁字路で左右の安全確認がしづらい箇所がある。○ 交通課長 付近にある店の客が路上駐車するケースが多いと考えられ、店の経営者等に路上駐車をさせないように注意喚起する。 指定駐車禁止の場所になると思われるので、それに基づいた取締りも併せて実施する。○ 委員 中田町の高校前の道路や交差点付近に朝夕生徒の送迎の車が止まっており、危険である。 朝は急に脇に寄せて駐車したり、道路の真ん中に止まったりしている。送迎の時間帯にパトカーで回って欲しい。○ 交通課長 これまでも学校側には口頭で指導をしてきたところであるが、更にチラシでの注意喚起やパトロールを継続的に行うとともに、併せて取締り等を実施する。○ 署長 学校対策を含めて総合的に対応していく。○ 委員 石越町内の一時停止の箇所で最近一時停止をしない車両が多くみられる。駐在所のパトカーで警戒して欲しい。○ 署長 パトカーのレッド駐留や取締りを含めて対応していく。
--	---